

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ナウ

Network Now

2023 No.570

6 / 1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第31回日本医学会総会 博覧会 に出展する!

2023年4月15日(土)から23日(日)まで、東京国際フォーラムならびに丸ノ内・有楽町エリアで第31回日本医学会総会が開催されました。この学会は4年に1度開催される国内で最も大きい医学系学会の一つであり、各団体・学会が協力しております。日本診療放射線技師会も文部科学省、厚生労働省、日本医師会、日本看護協会、日本薬剤師会他、多数の組織と共に後援として参画しております。開会式では天皇陛下や総理大臣の来場を賜り、ごあいさつを頂いております。また医学会総会では、一般市民の方を対象にした博覧会が催されました。

本会も4月20日(木)から23日(日)まで、東京国際フォーラムにおいて日本ラジオロジー協会(JRC)、日本医学放射線学会(JRS)、日本放射線技術学会(JSRT)、日本放射線科専門医会・医会(JCR)他と一緒に「みえる・わかる・なおる 放射線医療」と題して専用ブースを設置し、出展と放射線に関する説明を行いました。本会の展示は、日本診療放射線技師会の歴史や東日本大震災でのサーベイ活動、恐竜化石のCTスキャンなどのポスター展示と、診療放射線技師の業務に関するビデオ展示を行いました。また上田会長を筆頭に副会長・各理事がブルーのスクラブを着用し、来場者に放射線に関する説明を行いました。非常に多くの一般市民の方々にご来場いただき、盛況のうちに終了致しました。



日本診療放射線技師会の facebook ページへ
「👍 いいね！」をお願いします!

https://www.facebook.com/jart.or.jp/?ref=pages_you_manage



2023国際医用画像総合展 (ITEM in JRC 2023) 開催される (ハイブリッド開催)

2023国際医用画像総合展 (ITEM in JRC 2023) が、2023年4月14日 (金) から16日 (日) までの3日間にわたりJRC 2023と併催で開催されました。ITEM 2023のテーマは“Be a Game Changer in Medicine with Radiology”と掲げられ、多くの参加がありました。本年度の会場であるパシフィコ横浜 展示ホールA (一部)・B・C・Dには140もの企業が出展し、総展示面積は8,419m²となりました。昨年度に続き、Web展示「ITEM 2023-WEB」(3月10日 (金) から5月23日 (火) までオンライン公開)とのハイブリッド方式での開催でした。新型コロナウイルスによる制限も徐々に緩和されつつある中で、例年になく多くの参加者で会場は熱気に包まれており、フォトンカウンティングCTやAI技術をはじめとした最新の放射線医療機器は、今後の診療を大きく変えていくものと実感しました。

また本年度開催の第39回日本診療放射線技師学会大会 (熊本県) にご協力いただける企業へのあいさつのため、上田会長をはじめ児玉副会長、富田副会長、江端業務執行理事、川守田理事、園田理事、江田総務委員が現地会場入りしました。開催県である熊本県の実行委員会からも、大会長の西小野をはじめ緒方実行委員長、尾野副実行委員長、松原実行委員が同行し、共催セミナーや展示への協力依頼とあいさつを行いました。来年度には沖縄でJARTとJSRTの共同開催の学会大会が行われますが、開催県である沖縄県放射線技師会の長野会長も同行しました。会場を視察する中で、各企業の惜しめない努力がうかがえ、私たち診療放射線技師もこれからの最新技術を正しく使うために日々研鑽し、より良い医療を目指していかなければならないと思いを新たにしました。
(第39回日本診療放射線技師学会大会 大会長 西小野 昭人)



第543回中央社会保険医療協議会（中医協）総会 開催される（Web開催）

2023年4月26日（水）、厚生労働省 第543回中央社会保険医療協議会（中医協）総会・第61回費用対効果評価専門部会がWebで開催され、YouTubeでも同時中継されました。チーム医療推進協議会代表理事である本会の上田会長も専門委員として出席し、資料説明・意見交換を行いました。中医協総会に初出席となる上田会長は会議冒頭、20団体の医療関係職種を代表する立場として、求められた際には適切な意見を発言したい旨のあいさつを行いました。

会議資料などは厚生労働省のホームページからも確認・ダウンロード可能ですが、情報セキュリティ・サイバーセキュリティ体制に係る対応や、全国医療情報プラットフォーム、電子処方箋、人口動態を踏まえた医療従事者の勤務環境改善への取り組みと、診療報酬上の評価などについても幅広く議論されました。

中医協総会は来年度にトリプル改定（診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬）を控えており、今後は頻回な会議の開催が予定されています。2009年の北村善明元会長の選任に続き、再び本会から専門委員が選出されたことは、今後の本会の将来的展望を探る上でも重要な機会であると考えます。

（江端 清和）



2022年度 期末監事監査 実施される（Web開催）

2023年4月28日（金）、2022年度期末監事監査が行われました。初めに上田会長があいさつを行い、続いて2022年度事業報告総括について説明がなされました。その後、園田理事から2022年度の庶務報告と事業ごとの報告があり、引き続き江端業務執行理事より2022年度会計報告がなされました。

報告後、小川利政^{かいら}監事より予算と会計費用が乖離している事業項目について質問され、執行部より説明がありました。また小川清監事からは告示研修の実施状況、アフターコロナの会議の在り方、委員会の会議回数が少ない事業について質問がありました。

その後、監事からの講評の中で5つの意見が述べられました。

- ①告示研修を機に会員数の増加への検討。
- ②事務職員の充足についての検討。
- ③アフターコロナに対する会議・講習会など予算についての検討。
- ④理事会資料の正確性と迅速性についての検討。
- ⑤総会資料の監査法人資料は内部資料のため掲載する必要がない。

以上、講評と意見を頂きました。

最後に、上田会長から監事のご指導への感謝が述べられ、執行部として透明性を確保し、会員から信頼を得られるような会運営を行うことが述べられ、2022年度期末監事監査は終了しました。



論文特集号 発刊される

論文投稿システムの導入に伴い、ここ数年、皆さまからの投稿数が過去実績よりかなり増加しております。

本会では、論文の掲載について、毎月、発刊している会誌のみでは掲載し切れない状況となっており、研究成果を迅速に公開するためには論文最終受理後の速やかな掲載が重要と考え、昨年度の理事会承認を経て、論文特集号を発刊することとなりました（年2回の発刊を予定）。

初回は会誌5月号の別冊として、2023年5月1日（月）に発刊されました。

今後とも、皆さまからの投稿をお待ちしております。



2023年 春の叙勲受章者 —おめでとうございます—

旭日双光章	齊藤 忍 (熊本県)				
瑞宝双光章	安彦 茂 (宮城県)	岩崎 一人 (島根県)	牛間木真一 (岩手県)	尾形 智幸 (埼玉県)	
	小原 孝夫 (茨城県)	北川 明宏 (広島県)	菰田 一三 (愛知県)	清水 勲 (福井県)	
	宗内 隆義 (山口県)	濱田 洋敏 (奈良県)	平田 守 (徳島県)	森 佳久 (静岡県)	
	森岡 美英 (千葉県)	山本 茂 (鳥取県)	渡邊 浩 (神奈川県)	芳士戸治義 (東京都)	
	坂本 肇 (山梨県)	谷口 正洋 (京都府)	藤埜 浩一 (大阪府)	大野 吉美 (広島県)	
	加藤 君夫 (徳島県)				
瑞宝単光章	江上 廣一 (福岡県)	菅野 和之 (福島県)	橋口 善治 (鹿児島県)		

(敬称略・順不同、括弧内は所属地区)

INFORMATION

ICRP Publication 135 邦訳版【医用画像検査における診断参考レベル】の公開について

このたび原子力規制庁より、ICRP Publication 135 Diagnostic Reference Levels in Medical Imagingの邦訳版（医用画像検査における診断参考レベル）が完成し、ICRPホームページ上で公開されました。日頃の業務にご活用ください。

詳細は下記 Web でご確認ください。

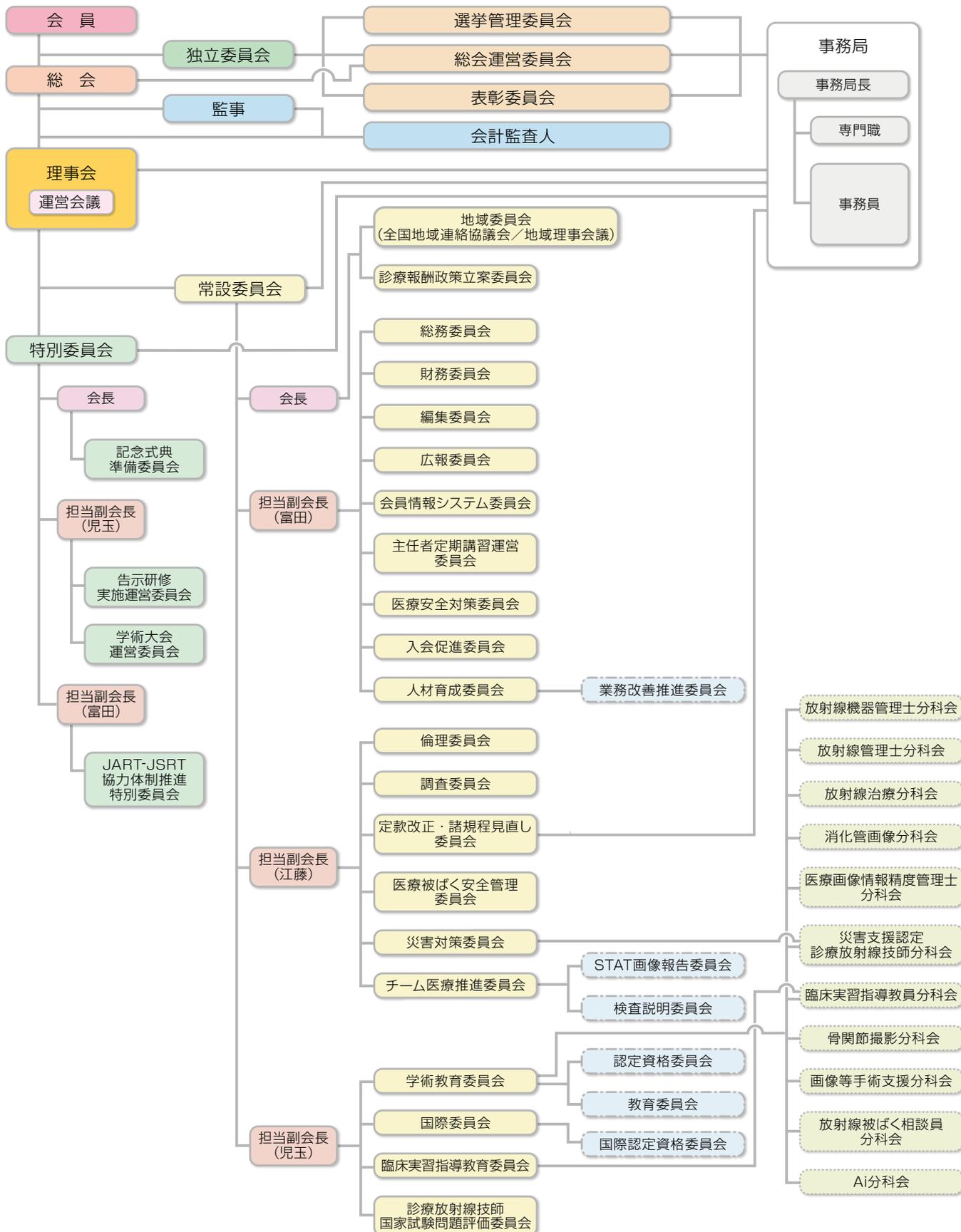
- 原題：ICRP Publication 135 Diagnostic Reference Levels in Medical Imaging
- 邦題：ICRP Publication 135 医用画像検査における診断参考レベル

原文 URL (ICRP) はこちら→ <https://www.icrp.org/publication.asp?id=ICRP%20Publication%20135>

邦訳版 URL (ICRP) はこちら→ <https://www.icrp.org/page.asp?id=506>

INFORMATION

公益社団法人日本診療放射線技師会 2022年度・2023年度 組織図 (修正版)



診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

佐賀県

一般社団法人佐賀県放射線技師会 常務理事 小濱 義幸

2023年4月22日(土)、国立病院機構佐賀病院において、「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」が開催されました。新型コロナウイルス感染者が減少する中、JART会場型講習会等開催ガイドラインに基づいて感染防止に努め、対面形式で行いました。本セミナーは、新人診療放射線技師向けに例年4月に開催され、今回は13人が参加し、エチケット・マナー、医療安全、医療コミュニケーション、感染対策、被ばく低減について学びました。入会案内では、柿本会長から技師会の活動内容、傷害保険の有用性、告示研修受講の必

要性、入会のメリットについて述べられました。講師の熱心な講義に、参加者の真剣にメモを取る姿がとても印象的でした。また施設を超えて新人技師の連携が構築されるよう自己紹介を行う機会を設け、セミナー終了後に集まり会話をする姿が見られました。今回のセミナーで学んだ内容を、日々の業務に反映していただければ幸いです。

最後に、参加者およびセミナー開催にご尽力いただいた皆さま、JART事務局の皆さまに感謝申し上げます、フレッシューズセミナー開催報告とさせていただきます。



群馬県

一般社団法人群馬県診療放射線技師会 教育部長 米持 圭太

2023年4月23日(日)、群馬県立県民健康科学大学 多目的ホールにおいて、「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」を開催しました。本セミナーは、新人診療放射線技師を対象として日本診療放射線技師会と群馬県診療放射線技師会の共催により、例年4月に開催しています。

参加者は、入職1年目の新人診療放射線技師を中心に12人でした。セミナーの内容は、エチケット・マナー、医療コミュニケーション、医療安全、感染対策、被ばく低減など、医療従事者に必要不可欠な内容を優先した講義となりました。講義後には、後閑会長から入会案内がなされました。

すでに医療機関で従事している参加者には、社会人・医療従事者としてのスキルを再確認するとともに、現場ですぐに役立つ新たな知識や技術を習得する良い機会となったようです。セミナー終了後には、個別に入会や告示研修に関する質問をする参加者もあり、新人診療放射線技師の積極性を感じることができました。今回のセミナーで学んだ内容を、現場で活用していただければ幸いです。

今後、より多くの新人診療放射線技師にとって有意義なセミナーになるように、積極的に取り組んでいきたいと思えます。



2023年度 日本診療放射線技師会奨学生の募集について

INFORMATION

本会教育奨励金貸付規程に則り、2023年度日本診療放射線技師会奨学生を、以下の通り募集します。

- **募集人数**：2人
- **応募期間**：2023年4月3日(月)から6月15日(木)まで(必着)
- **貸付金の金額**：500,000円(1人当たり。貸付額は一括振込み)
- **貸付期間**：大学院に在学する期間で、認定された年度から在籍している年度まで
- **申込資格**：診療放射線技師としてさらなる知識と技術を習得するため、大学院に入学している者で、他機関の奨学金を受けていない者
- **提出書類**：次の書類を本会事務局に提出すること
(1) 奨励金貸付申請書 (2) 履歴書(写真添付) (3) 前年度収入証明書 (4) 入学証明書 (5) 住民票
- **申請手続き**：本会ホームページより奨励金貸付申請書をダウンロードし、提出書類一式を送付してください。
- **返済**：承認された奨励金は、卒業後1年経過した後、5年以内の返済計画を提出していただきます。
詳細はホームページより教育奨励金貸付規程をご確認ください。
- **申請書送付先・お問い合わせ先**：〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル22階
公益社団法人日本診療放射線技師会 奨学生募集係

会員情報について

INFORMATION

会員情報が変更になられた際にはJART会員情報システム(JARTIS)から登録の変更をお願いします。

JARTISログイン → 「登録情報を確認・変更する」 → 「編集」もしくは  マークをクリック

※このページの「*連絡先」が会誌などの送付先となっております。送付先を変更される際は、こちらのプルダウンメニューより選択してください。

※会誌送付の要・不要もこのページで選択可能です。

- **本件に関するお問い合わせ**：
公益社団法人日本診療放射線技師会 事務局 E-mail : info@jart.or.jp [タイトル：会員情報変更について]

シンギュラリティについて思うこと



唐突ですが、皆さまはシンギュラリティ (Singularity) という言葉をご存じでしょうか。本来は数学や物理学の世界で使われる「特異点」を意味していますが、近年では人工知能 (AI: Artificial Intelligence) が人類の知能を超える転換点として使われています。次の文章をご覧ください。

「梅雨入りを前に、爽やかな風が吹き渡る6月。新緑が輝き、自然の中にいると心が和らぎます。診療放射線技師として働く皆さまにとっても、この季節は新しい気持ちで業務に取り組むチャンスです。日々進化する医療技術に追いつくためには、知識の更新やスキルの向上が欠かせません。日本診療放射線技師会の会誌は、そのような専門的な情報を提供する貴重な媒体となっています。ぜひ、この機会に積極的に情報収集を行い、よ

り高度な医療に貢献していただければと思います。」

これは、最新のAIであるChatGPT-3に【日本診療放射線技師会会誌の読者に向けて、6月の季節を感じるような新聞の文章を教えてください】という題で書かせた文章です。さらに文章を書き上げるスピードはリアルタイムという速さ。AIの技術の高さに驚いてしまいます。また放射線技術の中でも画像識別やノイズ除去に関してはすでに臨床に用いられています。数年後にはシンギュラリティに到達するのではないかと考えているのは私だけでしょうか？ 私たちはAIに使われたいよう、「人工知能 (AI)」をしっかりと学習し、AIを使いこなせるようになりたいものです。

(文責：高橋 俊行)

第8回 第39回日本診療放射線技師学術大会 (39th JCRT)
第30回東アジア学術交流大会 (30th EACRT)

熊本への道 Go To KUMAMOTO

実行委員 松原 隆敏

(一般社団法人熊本県放射線技師会 会員)

熊本の“飲”と“食”

熊本への道 Go To KUMAMOTOも残りわずかになりました。今回は皆さまも楽しみにされているであろう、熊本の“飲食”について紹介したいと思います。

第5回熊本への道でも紹介されました車海老のほか、**辛子レンコン**、**太平燕(タイピーエン)** などさまざまありますが、まず私が紹介したい“食”は、何と言っても**馬刺し**です。発祥は諸説ありますが、熊本藩の初代藩主である加藤清正が朝鮮出兵した際、食料が不足したため、仕方なく軍馬を食べたところ大変おいしく、熊本に帰ってからも馬を食べ、県内各地に広がったとされています。

一言で馬刺しと言っても、ロースや霜降りの赤身だけではなく、バラ肉の「**ふたえご**」、首の部分の希少な「**たてがみ**」などさまざまな種類があります。馬刺しは薄切りにし、スライスした玉ねぎやにんにく、おろし生姜と一緒に甘い醤油に付けて食べます。考えるだけで食欲がそそられます。また今では食べる機会が少なくなったレバ刺しも**馬のレバ刺し**として流通しており、食べることができます。臭みがなくあっさりしていて、コリコリとした食感です。塩とゴマ油でお召し上がりください。

馬刺しはおいしいだけではなく、低脂肪・低カロリー・高タンパクで亜鉛などのミネラルも豊富で、元気になれる一品です。熊本では飲食店だけではなくスーパーの精肉コーナーにも並んでおり、気軽に食べることができます。ぜひお召し上がりください。



馬刺し



白川水源

続いて“飲”も紹介させていただきます。熊本で飲み物を紹介すると、焼酎・日本酒・ワインなど、紹介したい熊本のお酒も山ほどあるのですが、私が紹介する飲み物は**水**です。

熊本は、世界でもまれな浄水処理をほとんど必要としない、**日本一の天然地下水の都市**といわれています。浄水処理を必要としない理由は、熊本の土壌に天然の浄水処理装置があるためです。熊本には阿蘇山の火砕流でできた地層が100m以上の厚さで分布しており、雨水がこの地層を阿蘇から熊本市内まで20年かけて通ることで良質な水として地下に蓄えられています。

湧水群も多く、環境省の名水百選には「**白川水源**」をはじめ8カ所が選ばれており、この数は日本一です。JR熊本駅には「**蛇口をひねればミネラルウォーター**」という、熊本の水を飲めるスポットもあります。おいしい熊本の水、ぜひご賞味ください。

今回の学会はWebを併用したハイブリッド開催ですが、ぜひ、皆さまには現地へ来ていただき、充実した学会、また魅力的な熊本を堪能していただければと思います。多くの皆さまとお会いできることを、実行委員一同、楽しみにしております。



第39回 39th Japan Conference of Radiological Technologists

日本診療放射線技師学術大会

会期 | 2023年9月29日[金]～10月1日[日]

会場	熊本城ホール	会長	上田 克彦
	[ハイブリッド開催]		[公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長]
	〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40	大会長	西小野 昭人
			[一般社団法人 熊本県放射線技師会 会長]

主催	公益社団法人 日本診療放射線技師会
共催	一般社団法人 熊本県放射線技師会
後援 (予定)	厚生労働省 / 日本放射線技術学会 熊本県 / 熊本市

～タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～

復興の地から はじまる 技術革新



©尾田栄一郎/集英社

熊本地震から復興に向かう熊本に対して尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」というメッセージをいただき「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」が立ち上がりました。復興が進む熊本で学術大会を開催するにあたり、地震からの復興を応援するために「ONE PIECE 麦わらの一味」の銅像を使用させていただきました。

大会事務局



一般社団法人熊本県放射線技師会

〒861-8528 熊本県熊本市東区长嶺南2-1-1 日本赤十字社熊本健康管理センター 放射線課内 TEL・FAX (096)386-1388

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定：

香川	6月3日(土)	岩手	6月11日(日)	栃木	6月11日(日)	滋賀	6月11日(日)
大阪	6月11日(日)	鹿児島	6月11日(日)	北海道	6月24日(土)	愛知	6月25日(日)
京都	6月25日(日)						

6月・7月の講習会などスケジュールのご案内

■ モニタ精度管理セミナー：	東京	2023年6月17日(土)
■ 消化管造影セミナー：	Web開催	2023年6月28日(水)
■ 骨関節撮影分科会セミナー：	京都	2023年7月9日(日)
■ 放射線被ばく相談員講習会：	Web開催	2023年7月23日(日)
■ 放射線治療分科会生涯教育セミナー(治療計画・乳房編)：	茨城	2023年7月29日(土)

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

- 告示研修(実技研修)／業務拡大に伴う統一講習会／診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース(会場型)：
本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

【e-ラーニング(ストリーミング方式)】

■ 告示研修(基礎研修)	2023年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
■ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー	2023年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け ※配信を再開しました。 ※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
■ 認定資格失効者講習会(在宅)	
■ 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修(在宅)	2023年12月22日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日から2024年1月27日(土)まで何度でも視聴いただけます。
■ オンラインセミナー(在宅) ・ラダーレベル1、2 ・マネジメントラダーレベル3	
■ オンラインセミナー(在宅) ・ラダーレベル3	2023年6月14日(水)午前0時から12月22日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日から2024年1月27日(土)まで何度でも視聴いただけます。

本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ(<https://www.jart.jp>)から“新規入会”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL：03-4226-2211 E-mail：info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

事務所 案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。